

くめなん

令和4年1月24日
久米南中学校便り NO.11
校長 下山 洋



令和4年のスタートです。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたことと存じます。

11日（火）より3学期が始まりました。生徒は新たな気持ちで新年を迎えることができたでしょうか。この学期は、学年のまとめの時期でもあり、この学年で学習してきたことを、今一度振り返り、次年度に繋げる大切な学期です。

3年生は、進路の決定という大切な節目であります。次の段階が上がっていくためには、すべての人が通らなければならない道です。一生に一度しかないこの時期に、自分の力を存分に発揮してほしいと願っています。今月末の私立高校Ⅰ期入試を皮切りに受験シーズンに突入します。

保護者の方も新型コロナウイルス感染症が大変気になると思いますが、勉強と健康のバランスに注意しながら今まで蓄えてきた力を発揮できるよう応援をよろしく願います。

何事も当たり前のことが当たり前でできることが大切です。

何かの本に以下のようなことが書いてありました。

業界の最前線を走り続ける企業に共通していることは非常にシンプルです。「あいさつをすること」「ゴミを見つけたら拾う」「仕事のめ切を守る」といった小学校で教えるような「基本のき」が社員に浸透している。人としての基本が組織の風土・社風をつくり、これが最後の砦（とりで）となって組織を守っている。

なぜ、いまさら「あいさつ」の話なのか、疑問に思うかもしれないが、それはチームの信頼関係に影響します。優秀な人材を集めたのに結果をなかなか出せないチームがあったとしましょう。そのチームの根本的な問題は「能力」ではありません。社員同士のコミュニケーションや信頼関係の希薄さが不振原因になっている場合が大半です。（中略）

一流企業一流チームをつくり上げるには、毎日の小さなこと、例えば「あいさつ」などを徹底して実行するしかありません。朝の「おはようございます。」退社するときの「お疲れさまでした。」・・・

良品計画前会長 松井 忠三「無印良品の教え」より抜粋

生徒のみなさんはどうですか？毎日、気持ちの良い「あいさつ」ができていますか？教室や校内にゴミが落ちているのを見つけたら拾って捨てることができていますか？会社も学校もクラスもそれを構成している「人」しだいなのです。私も含めて「基本のき」、当たり前のことが当たり前でできる人間になりたいものです。そうなるよう言動を意識すると今以上に人間関係や信頼関係がよくなりいいクラス、いい学校になっていくと思います。「当たり前」を意識する生活を心掛けていきましょう。

今月になって新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。いつ誰が感染してもおかしくない状況です。自分にできる感染予防を徹底し、感染しない感染させない生活を心掛けましょう。

練習(学習)×栄養(3度の食事)×休養(睡眠)+努力=勝利(目標達成・志望校合格)

の方程式に従ってコロナに負けない生活をしましょう。体調の悪い時は早めの医療機関受診を。